



## CTEC主催 講演会 報告

小学校教育の今 -学級担任、専科教員それぞれの視点からの授業運営-



木村 葵 先生  
(船橋市立宮本小学校)



小林 悠 先生  
(品川区教育委員会  
小学校英語専科指導員)



ストーリーを使った音声指導

9月19日(月・祝)に、CTEC主催 第11回講演会を開催しました。今回は、本学卒業生で船橋市立宮本小学校教諭の木村葵氏と、東京都品川区英語専科指導員の小林悠氏に、それぞれの立場から外国語授業の運営についてお話しいただきました。

2020年度より小学校では、中学年から「外国語活動」が導入され、高学年では教科としての「外国語」が始まりました。小学校3年生担任の木村先生は、特に、チャンツ(一定のリズムに英単語や英文を乗せて発音する指導法)を使った発音練習や、インタビューアクティビティを取り入れた児童同士の交流、児童の振り返りを活用した評価方法など、学級担任の視点に立った授業づくりをお話しくださいました。

小林先生は、品川区での英語専科教員として実践している教授法などを動画を交えてお話しくださいました。検定教科書を使った指導に加えて、コンテキスト(文脈)を大切にするストーリーを活用したStory-based approachの授業展開をされています。学級担任とCo-teaching(2人の教員が協力し、チームとなって授業をする)の体制で、Little Red Riding Hood(赤ずきんちゃん)を題材に、児童とジョイントストーリーテリング(先生と児童がストーリーを掛け合いながら進めていくスピーキング活動)をテンポよく軽快に進めている様子を動画でご紹介してくださいました。担任の先生もジェスチャーを使ってストーリーを表現していくことで、児童から「自分もやってみよう!」という気持ちを引き出すことができ、児童とのつながりが英語の授業内に生まれやすくなるとおっしゃっていました。

講演後の質疑応答では、船橋実習に参加している学生からの質問だけでなく、全国各地の小学校の先生方からも多くの質問が寄せられました。本講演は、学内外、また県内外より、106名のみなさまにご参加いただきました。この度は、たくさんのご参加ありがとうございました。CTECでは、今後も早期英語教育に関わる講演会やイベントの開催を予定しております。次回も多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

### 学生の感想



木村先生のレクチャーを聞いて、小学校現場の担任の先生方が外国語の指導・学習方法を模索されている最中にあるのだと感じた。外国語の教科化によって、どのように評価を行うのか、どう4技能5領域を授業内で展開していくのかということが難しいところであると実感した。その中で、木村先生が行われていた研究授業は、ゲーム形式でアクティビティを取り入れたり、児童の興味に基づいて実践なさっていた。教科書の内容や既習内容に基づいたゲームを行うなど、行う理由を明確にしていく必要があると感じた。学級担任の立場としてのお話から外国語学習の現状を知ることができ、中・高英語教員になる上では校種間連携を認識できた貴重な時間であった。(英米語学科4年)。

小林先生のお話で1番印象に残っていることは、ストーリーを使用した音声指導である。実際に行われているストーリーを活用した指導の動画を見た際に、児童みんなが大きな声を出してジェスチャーをしながら長いストーリーを暗記して、英語を話していたことにとても驚いた。先生は決して英語を和訳することはせず、また、教科書通りに授業を進めるのではなく、「意味のある文脈」や「生きた英語」、日常生活で使えるようなナチュラルな表現をストーリーを通して学ばせていた。初めは、声が出ず英語が話せない児童は、まずは手だけを使用して真似していくことで、少しずつ発話に繋がるということを学んだ。昔話などを用いたストーリーの音声指導と同じように、リタラシー指導も重視されていた。このようになるまでに、まず、英語のアルファベットの名前読みが分かり、次にそれらの音を分かるようにし、そして、1つ1つの音を繋げて単語を読めるようになるという段階がとても大事であるということが改めてわかった(IC学科3年)。

## お知らせ

### 海外・沖縄実習 説明会 10月開催予定!

2023年2月より実施予定、海外・沖縄実習説明会の開催を予定しています。実習を希望している学生は、必ず参加するようにしてください。

※現時点では、履修登録不要です。

#### [実習先]

##### ▽アメリカ

- カルフォルニア州トーランス市 現地公立小学校
- 定員: 10~20名程度
- 条件: 2年生以上であること  
本課程 STEP1 を履修済みであること

##### ▽ニュージーランド(今年度より開始)

- オークランド郊外グレンドローウィー地区  
Glendowie Primary School
- 定員: 若干名
- 条件: 2年生以上であること  
本課程 STEP1 を履修済みであること  
※ 語学基準・面接あり

##### ▽沖縄

- 沖縄県うるま市 学校法人 アミークス国際学園
- 定員: 2~3名
- 条件: 2年生以上であること  
本課程 STEP1 を履修済みであること  
※ 語学基準・面接あり

#### 今年度より派遣開始! ニュージーランド研修

#### Glendowie Primary Schoolのご紹介

Glendowie Primary Schoolは、オークランド郊外グレンドローウィー地区の政府認定国際学士学校として教育を行っている小中一貫校。現地の子どもだけでなく、英語を母語としない子どもや留学生も在席しており、生徒数は、約650名(1~8学年、5歳~13歳)。校舎は、ニュージーランドの自然豊かな環境を取り入れており、休み時間など、子どもたちは裸足で中庭に出ることもあります。学校周辺は、閑静な住宅街で治安も良く、海も近いのでニュージーランド内でも人気エリアとなっています。アメリカ実習同様、実習期間は、現地でホームステイし、ホストファミリーとの交流を通じてニュージーランドの文化に触れることができます。



## 児童英語教員養成課程 船橋実習開始!

9月15日(木)から児童英語教育実習(船橋)が始まりました。今年度は、23名の学生が船橋市内の各小学校で、外国語での授業内学習サポーターとして、実習に参加しています。

8月31日に実施された第1回事前指導では、船橋市教育委員会の指導主事の先生方より、船橋市の外国語カリキュラムや小学校現場での留意事項について、ご指導いただきました。

9月7日に実施された第2回事前指導では、実習校への事前連絡の報告、実習を通じて達成したいことを一人ずつ発表し、実習の目標を再認識しました。船橋市では、小学1年生から外国語の時間を設けており、幅広い学年で実習を行うことが出来ます。実習では、小学校の教育現場に入ることによって実際に子どもたちに接することができ、講義内で学んだ活動を実践して指導技術を高め、また子どもの発達過程の特徴を経験を通じて学べます。

## 「英語絵本を活用した言語活動」中間報告 8-9月

千葉県内の小学校へ児童英語教員養成課程履修者を派遣し、英語絵本を活用した読み書き指導を行うプロジェクトが実施中!本プロジェクトは、千葉県教育委員会と連携し、英語による読み聞かせをとおして小学校教員の「読むこと」と「書くこと」の指導力向上を図ることを目的としています。夏休みの事前研修を経て、8月にはキッズクラブとの合同イベントを開催し、9月からいよいよ公立小学校への派遣が開始されました。

### 神田外語キッズクラブ・CTEC合同開催 英語絵本読み聞かせイベント (8月26日)

8月26日(金)神田外語キッズクラブとの合同開催「英語絵本読み聞かせイベント」を開催しました。小学校での実践を兼ねて、学生たちは、保護者同伴のもとキッズクラブの生徒(年中～小6)に授業を行いました。

子どもたちは、5種類の絵本の中から興味のあるものを選び、そのクラスに参加しました。当日は、1クラスしか参加する予定がなかった子どもたちが他の絵本にも興味を持ち、「他のクラスも参加したい!」と保護者へお願いしている姿が印象に残りました。

今回のイベントでは、学生12名が読み聞かせを実施し、34名の子どもたちが参加してくれました。学生たちは、普段の練習では大学生を生徒役としていたため、今回のイベントで子どもたちの反応や意見の豊かさに驚かせることが多かったようです。



### 千葉県「英語絵本を活用した言語活動実践」 学生派遣 開始 (9月～)

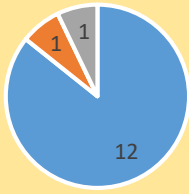
夏休みの研修やキッズクラブとの合同イベントを経て、ついに学生たちの千葉県内51校の小学校への派遣が始まりました。本プロジェクトには、21名の学生が参加しており、うち14名の学生が、後期授業開始までに、23校へ派遣されました(うち7校はオンラインでの実施)。

千葉県の教員研修の一環として行われている本実践では、学生たちは自分が作成した指導案や教材を使って、45分間の授業を実践します。その後、各小学校で担任あるいは専科教員が4～5回レッスンを引き継ぎ、絵本を使って読み聞かせ、および、読み書きの指導を実践します。本学の学生は、千葉県内小学校の英語教育に大きな貢献をしています。(写真 左:オンライン実施の様子、右:対面実施の様子)



### 2023年度卒 児童英語教員養成課程 修了者 見込み

今年度は、14名の学生が児童英語教員養成課程を修了する見込みです。昨年度の本課程修了者は9名でしたので、今年度は昨年度よりも多くの学生が本課程を修了する見込みです。本課程を修了するには英語のA基準を満たしている必要があります。A基準を満たせるように日頃から英語の勉強に力を入れてください。



■英米語 ■IC ■ベトナム

### 児童英語教育実習(沖縄)体験レポート

昨年度2月に実施予定であった沖縄実習(於沖縄アミークスインターナショナル幼稚園・小学校)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。今回8/29-9/16に代替実習を実施することが出来たので本実習に参加した科目等履修生のグエン・ターオヴィさんの体験レポートをご紹介します!

#### ▽担当した学年は?

インターン生として、主に小学校2年生を担当しました。小学校低学年の児童と接することや、インターナショナルスクールに行くことも初めてなので、最初は不安な気持ちもありましたが、先生方や子どもたちが明るく温かく迎えてくださり、非常に充実した経験をさせていただきました。2年生の子どもたちは元気いっぱい、子どもたちと触れ合う楽しさを実感したと共に、低学年児童への言葉がけや生徒指導等接し方を学ぶ機会にもなりました。

#### ▽実習校で印象的だったことは?

沖縄アミークスで学んだこととして、主に英語使用環境づくりとICTの効果的活用が挙げられます。国語と社会以外の主要教科は、英語で授業展開されているため、英語で他教科を学ぶ環境にあり、子どもたちの理解力に驚きました。特に一度で指示が通らない場合であっても、スライドやジェスチャー、先生が「次何をすればいいんだっけ?」とクラス全体で確認することで日本語を介さないで理解させていました。また事前作成したスライドを白板に反映させて授業を展開されていたため、従来の板書の分の時間を机間巡視で子ども一人一人に費やす時間にあてられていたのも参考になりました。最後の週には、絵本の読み聞かせを実施し、その内容から発展した道徳授業をさせていただきました。実際に授業をして感じたことは、現場の子どもたちが主役となる授業をすることです。教員側がメッセージを伝えるのではなく、子どもたちからどう引き出すか、先生方から助言いただきながら授業をさせていただきました。現場だからこそ学べるものがたくさんありました。

#### ▽沖縄実習参加に向けて、準備しておくべきことは?

沖縄実習への参加の条件には、英語面接がありますが、面接で使用した以上の英語力が現場では求められました。来年度の参加を考えている学生は、児童英語の授業はもちろん、普段の英語科目の授業でも沖縄実習を意識して授業に取り組むことをおすすめします。また、実習中に児童英語指導法(R&W)を使用した教材を使って、子どもたちの前で読み聞かせ指導を行いました。出発前に、アミークスの子どもたち向けに教材を作り直したり、デモの練習することをおすすめします。

### 千葉県「小学校外国語スキルアップ研修」 実施報告

7月29日(金)に、本学3・4号館にて、千葉県公立小学校教員対象に「小学校外国語スキルアップ研修」が実施されました。当日は100名の先生方が研修にお集まりになり、田中先生は英語音声から読み書きにつなげる指導法について、河合先生は、英語音声指導について午前と午後に分けて研修を行いました。

外国語指導に必要な4技能について、理論と実践を交えながら研修は進み、ご参加された先生方は、活気に満ちていました。自ら実践の発表に参加されるなど、外国語の指導力向上を目指して、真摯に取り組んでいらっしゃいました。



### 10-11月の予定

10月～11月 海外・沖縄実習説明会(予定)

10月12日(水) 船橋実習 第1回中間指導

10月20日-24日 英語絵本を活用した言語活動  
(木)(月) 学生派遣(12校)

11月19日(水) 船橋実習 第2回中間指導

11月22日-25日 英語絵本を活用した言語活動  
(火)(金) 学生派遣(7校)

### 児童英語教育研究センター(CTEC)

【TEL】043-273-1579  
【Mail】ctec@ml.kuis.ac.jp



KUIS.CTEC

【HP】  
<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/labo/ctec/>

